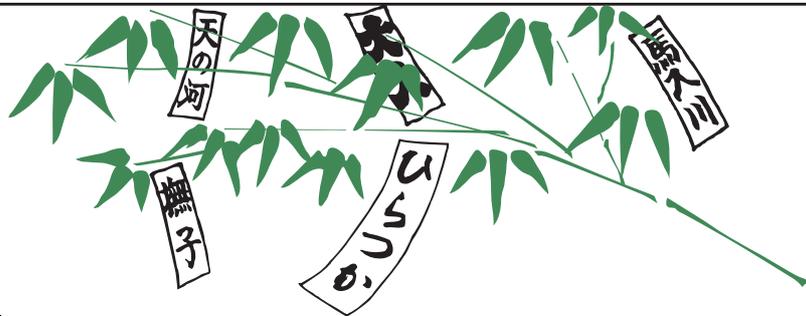




2011~2012年度 国際ロータリーテーマ

Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 杉山善弥 ● 副会長 牧野國雄 ● 幹事 鶴井雄仁 ● 会報委員長 小野 学 (2011~2012年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2798回 2011年7月21日 グランドホテル神奈中 週報第2798号

本日の卓話者ご紹介

NPO法人「セイラビリティー江ノ島」
理事長代理 堀岡 忠 重 様



卓話

セイラビリティー江の島の活動

NPO法人「セイラビリティー江の島」
理事長代理 堀岡 忠 重

この会はどんな会ですか？セイラビリティーって何ですか？。ってまず聞かれます。

この言葉は80年代にイギリスで始まった運動を指す言葉で、セイリングとアビリティを合わせた造語です。帆走と能力の二つの言葉から作ったもので単純に日本語に訳すと「帆走能力」という言葉になってしまいますが、意味するところはまったく違って、「人間は誰でも帆走する能力を持っている。出来ないのはその人の能力の問題でなく、ヨットを一部の人の楽しみとしてきた事が原因である。障害のある人も子供も老人もみんなヨットを楽しもう。」という運動です。

91年にオーストラリアで「アクセスディングー」という障害者が気楽に乗れるヨットが開発されました。

このヨットにこの会の代表の「松本富士也」が出会い、その機能、安全性、思想に感銘を受けてこの会の活動を思い立ったのです。

松本は東京オリンピックのヨットの選手で、その後オリンピックの監督も務めた人ですが、今までヨットを楽しみ、普及し、強化してきたけれどヨットに乗ることの出来ない人の事を考えていなかった。これからはこのヨットでヨットを楽しむ事が出来なかった人たちにヨット

トを楽しんでもらおうと残りの人生をささげる決心をしたのです。

この会の目的は、この事だけで普及とか強化は入っていません。ただこの一点に尽きるのです。

このヨットの特徴は、①転覆しない。②前を向いて椅子に座って乗れる。③ブーム（セイルの下の棒）で頭をぶたれることがない。と極めて安全に簡単に楽しむことが出来る点にあります。

二人乗りで、会員のインストラクターが障害者の横に座ってヨットを操船したり、障害者の操船を手伝ったりするのです。

実際、障害のある方、例えば目の見えない方を乗せた場合のお話をしましょう。

ブラインドの方は耳、皮膚感覚が優れているので比較的簡単です。ヨットは真横から風を受けると一番早く走りますが、この状態のとき「さっきとは水を切る音が違うでしょう。」とか「水に手を入れてみてください、早いでしょう。」とか「風が顔に当たって気持ちいいでしょう。」とコミュニケーションが取れますし、また真後ろから風を受けて走るときは「今は風を真後ろから受けています。風とヨットと同じ速さだから、風は無風みたいに感じるでしょう。」なんてこっちが言うとも「さっきとは水を切る音が違いますね。」なんて反応が返ってくる場合があります。さすが耳が良いななんて思ったりもします。

これが耳の聞こえない人だとなかなかコミュニケーションが取れないので難しいところがあるのです。さっきのように真横から風を受けているときはこの状態を説明することが出来ず、真後ろから風を受けて走っているときに身振り手振りですさっきの方が早いと分かってもらうのは大変です。それでも一生懸命やっているとなんとなく伝わるから不思議なものです。そのうち、同乗者が耳が聞こえないことを忘れて「富士山が綺麗だね、今日はいい天気風もほどほどで最高のヨット日和だよ。」と身振り手振りを交えながらしゃべっています。最初は意識しちゃって言葉が出ないものです。でも言葉をまじえた身振り手振りが一番コミュニケーションが取れるようです。

一番大変といえば大変。楽といえば楽なのが重度の自閉症です。とにかく全く反応が無い人もいますが、全く普通の人と同じように話しかけ、船を操船してもらい、景色を楽しんでいただければ良いだけです。その間、面白

<出席報告>

本日 7月21日	会員数 56名	対象者 50名	出席者 42(37)名	出席率 74.00%			
前々回 6月30日	会員数 59名	対象者 53名	出席者 38(37)名	出席率 68.91%	MUP 2名	計 39名	修正率 73.58%

いのかつまないのかぜんぜん反応が無いのですが、こちらとしては船酔いとか疲れたとかの表情だけを気にしていれば良いので、さっきお話したように楽といえば楽です。このような方でもほとんどの付き添いの方からは「楽しんでいましたよ。」「また来ます。」というお話をいただきます。

一度こんな話がありました。暑さ対策で帽子をかぶれといってもかぶらない子がいて、その子に帽子をかぶらなくても大丈夫だよと、私の帽子を海に捨てられました。更にサングラスをかけているのは悪者だと言ってサングラスも海に捨てられちゃいました。そのサングラスは一番大事にしていたレイバンのサングラスでした。癪に障るので「帽子を捨てられたってカツラがあるから大丈夫。」と言ったら「カツラも捨ててやる。」と言って船を下りるまで髪の毛を引っ張り続けられました。

こんなこともあります。我々の喜びは何と言っても同乗者の喜んだ顔、付き添いの方の楽しそうな顔です。

最後に我々の活動についてご説明します。月に3~4日の体験乗船日を設けており、この他に団体の乗船日も設けています。両方合わせると月に7日ぐらいでしょうか。体験乗船は健常者も歓迎です。料金が違うだけです。

夏休みにお孫さんやお子様を連れて江の島においでください。

また会社の社会貢献活動として、障害者団体を招待することでいくつかの会社に利用いただいています。半日7500円で社会貢献活動が出来ます。是非ご利用ください。

本日は松本と言うヨットマンの最後のご奉仕のお話を聞いていただきありがとうございます。是非江の島でお待ちいたします。

**パンフレットをご覧になって、
お電話をお待ちします。**

堀岡忠重様プロフィール

昭和20年平塚生まれ。昭和44年慶應大学卒業後、安田信託銀行入行。退職後、大学時代カヌー競技の選手であったことから「セイラビリティ」に係わることに。現在広報を担当。

<幹事報告>

◎ロータリー財団月間(11月)卓話派遣希望受付開始
地区ロータリー財団委員と財団学友がクラブへ派遣されます。財団月間以外の日時も申込可能です。

申込締切: 8/19(金)まで

◎7/1より公益法人ロータリー日本財団が、新たに恒久基金の受け入れも開始します。これにより、年次寄付、使途指定寄付、恒久基金は税制上の優遇措置対象となります。

確定申告書用の領収書は、送金明細の「寄付者名」に基づいて発行されます。

詳しくはWebサイト (<http://piif-rfj.org/>)、また資料を回覧しておりますのでご覧ください。

【公益財団法人ロータリー日本財団とは】

公益財団法人ロータリー日本財団は、ロータリーの奉仕の理念に基づき、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを目的としています。

公益財団法人ロータリー日本財団は、国際ロータリーの

ロータリー財団の協力財団です。2009年6月11日に一般財団法人として設立され、2010年12月24日、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)第4条に基づき、内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受けました。

【公益目的事業の趣旨】

1. 個人が海外留学するためもしくは海外から日本へ留学するための奨学金(グローバル補助金における奨学金)およびロータリー平和フェローシップの付与
2. 非営利財団法人である国際ロータリーのロータリー財団の活動を支援するための寄付金の提供

◎2012-2013年度 青少年交換学生募集(回覧しています。)

<派遣について>

期 間: 2012年8月~2013年8月

人 数: 8~10名

派 遣 国: アメリカ・カナダ・ブラジル・台湾・ロシア・フランス・スウェーデン

クラブ締切: 10/14(金)

地区締切: 10/31(月)必着

試 験: 1次(筆記) 11/12(土)

2次(面接) 11/13(日)

を予定しています。

<メイクアップ>

2名

古屋守久・杉山昌行 会員

<ゲ ス ト>

堀岡忠重様(卓話者)



モーさん(米山奨学生)

<ビジター>



秦野RC 会長 高橋 泉様/幹事 小泉順一様

<本日のスマイル>

6名

<卓話・行事予定>

- 8月 4日(木) プログラム委員会
11日(木) 休会(定款による)
18日(木) 地区会員増強委員
高橋宏昌 様(伊勢原平成RC)
25日(木) プログラム委員会
9月 1日(木) ガバナー補佐訪問
樋口^{ひらと}大人 様(平塚北RC)

<市内例会変更>

現在ありません。